

	号外	定価 1部2円	確定闘争ヤマ場の 10月31日地公 共闘人事課長交渉 に県庁座り込み配 置！賃金改善に向 け結集を！
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	

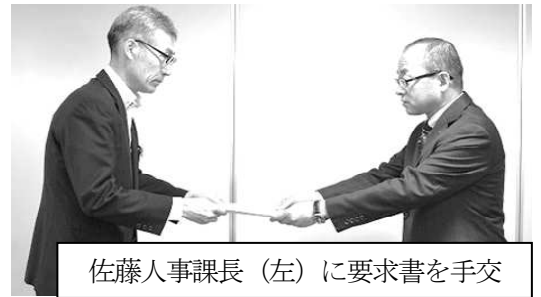
2018確定闘争③ 10.22地公共闘・人事課長交渉

怒 改善より「現状維持」の姿勢！？

給与改定 国の給与法改正を見極め対応 通勤手当 前1年のガソリン平均価格に固執・改善姿勢なし 10月31日ヤマ場交渉で県庁座り込み配置・当局は職員の声을聞け！

10月22日、岩手県地方公務員共闘会議（議長：佐藤淳一岩教組委員長）は、2018 確定闘争における知事あて要求書を佐藤人事課長に提出し、現時点の姿勢を質すべく交渉を行った。交渉結果は次のとおり。

【交渉結果】給与改定に関し、「人事委員会勧告を最大限尊重。年内の条例改正と差額支給は、国の給与法改正の動向も考慮する必要がある、国の動向を慎重に見極めて検討」との回答にとどまったことから、昨年度の経緯を伝え、越年となれば職員の勤務意欲失墜につながるとし、早期改定を求めた。



佐藤人事課長（左）に要求書を手交



回答を求める地公共闘交渉団

現給保障者対策は「普通会計の適用を受ける職員のうち、4月時点で2,700人が現給保障。今回の給与改定も170人が現給保障から外れるも、多くの職員が現給保障」とし、各任命権者が課題意識を共有して高齢層職員の勤務意欲の維持・向上に向けて取り組む

との現状姿勢を示したにとどまった。通勤手当は「手当額の上限引き上げには人事委員会の判断が重要」、「ガソリン価格の動向を踏まえた改定は、過去の県議会の付帯決議を踏まえ、前1年における平均価格をもとに改定を行うことについて、議会からも理解を得ている」とし、切実な要求とは程遠い姿勢を示した。専門職の処遇改善は、獣医師は何等かの改善が必要としたが、具体内容まで示されず不十分な回答に終始した。



回答する佐藤人事課長

県人勧尊重も、給与改定は国動向を注視との姿勢に固執し、通勤手当等も職員の負担解消の要望に対し、現状維持を強調する極めて不十分な姿勢に終始した。地公共闘は10月31日ヤマ場交渉に県庁座り込みを配置し、前進回答を求めていく（交渉結果は裏面）。

1 月例給・一時金の改定

(地公共闘) 給与改定の実施について、特にも年内の条例改正・差額支給を求める。

(人事課長) 県人勸尊重の姿勢。国の給与法改正の考慮が必要。国の動向を慎重に見極めて対応。

(地公共闘) 国の動向ではなく職員の勤務意欲確保のため早期に改定すべき。早期実施を強く求める。

2 高齢層職員の処遇改善 (主に現給保障対象者への対応)

(地公共闘) 来年3月で現給保障期間が満了し、多くの職員が賃下げに陥る見込みだ。本年1月の退職手当引下げ交渉時にも高齢層職員の処遇改善に向け総務部長から見解を示したが、その後の対策を示せ。

(人事課長) 現給保障対象者は普通会計で本年4月時点約2,700人。今回の給与改定でも約170人が現給保障から外れるが、多くの職員が経過措置の対象。引き続き、各任命権者が課題意識を共有しながら、高齢層職員の勤務意欲の維持・向上に向け取り組む必要。

(地公共闘) 本年1月の総務部長回答を踏まえれば不十分。次回交渉で任命権者ごとの具体的な勤務意欲改善策を含め対策を示すべきである。次回交渉時に提示を。

3 諸手当改善

(地公共闘) 通勤手当に関し、昨年度の確定交渉では「距離区分新設は遠距離通勤者の負担緩和のため有効」との姿勢であった。早急に是正すべき。ガソリン価格高騰を踏まえた改定は急務だが、検討状況は。住居手当も自己負担が大きく、改善すべきだか、検討状況は。

(人事課長) 遠距離通勤者の負担軽減は重要な課題だが、手当額の上限引上げにあたり人事委員会の判断が重要。ガソリン価格に関し、2008年度の引き上げ改定提案時に県議会から「直近のガソリン価格が直接反映されるものではなく、前1年における平均価格など一定期間の価格変動を踏まえて改定するのが合理的」との付帯意見が付されており、前1年の平均価格などを基に改定を行うことについて、議会からも一定の理解をいただいている。慎重に検討しなければならない。

住居手当は公民較差にも影響を及ぼすため人事委員会が判断すべき事項。勧告を行わないという判断は重く受け止める必要。人事院が報告で住居手当の見直しに言及しており、国の状況を注視する。

(地公共闘) 遠距離通勤や家賃が高騰している地域で勤務せざるを得ない場合に負担を求めるのは問題。ガソリン価格が高騰し続けているのに更に1年間も自己負担を強いる姿勢は許されない。再考を。

4 専門職種の処遇改善

(地公共闘) 県人勸の報告の部を踏まえ、獣医師の処遇改善の考えは。薬剤師等の他職種の改善は。

(人事課長) 獣医師はここ数年採用者数が採用予定者数を下回る状況。県人勸の報告を踏まえ、他県との均衡を考慮しながら、どのような形で処遇改善ができるか検討中。薬剤師等は直ぐの改善は困難。

(地公共闘) 他県より大幅な処遇改善がなければ人材確保はできない。次回で具体案を示すべき。

5 赴任旅費 (移転料) の改善

(地公共闘) 引っ越し費用高騰を踏まえた赴任旅費の改善の考えは。

(人事課長) 移転料は、他県と均衡。他県では長距離の移転が必要な際に赴任旅費の特例を設けていることは承知。旅費制度全体の在り方として、費用弁償の側面をどれだけ制度に反映させるか慎重に検討。

(地公共闘) 費用弁償の側面を踏まえるならば、遠距離異動者への負担緩和こそ不可欠。改善を。

上記のほか、「休暇制度 (主に不妊治療への支援策)」、「実効力ある長時間労働の是正策 (勤務時間管理の徹底・適正化)」、「ハラスメント対策」も交渉し、次回交渉に向けて改善を求めた。